

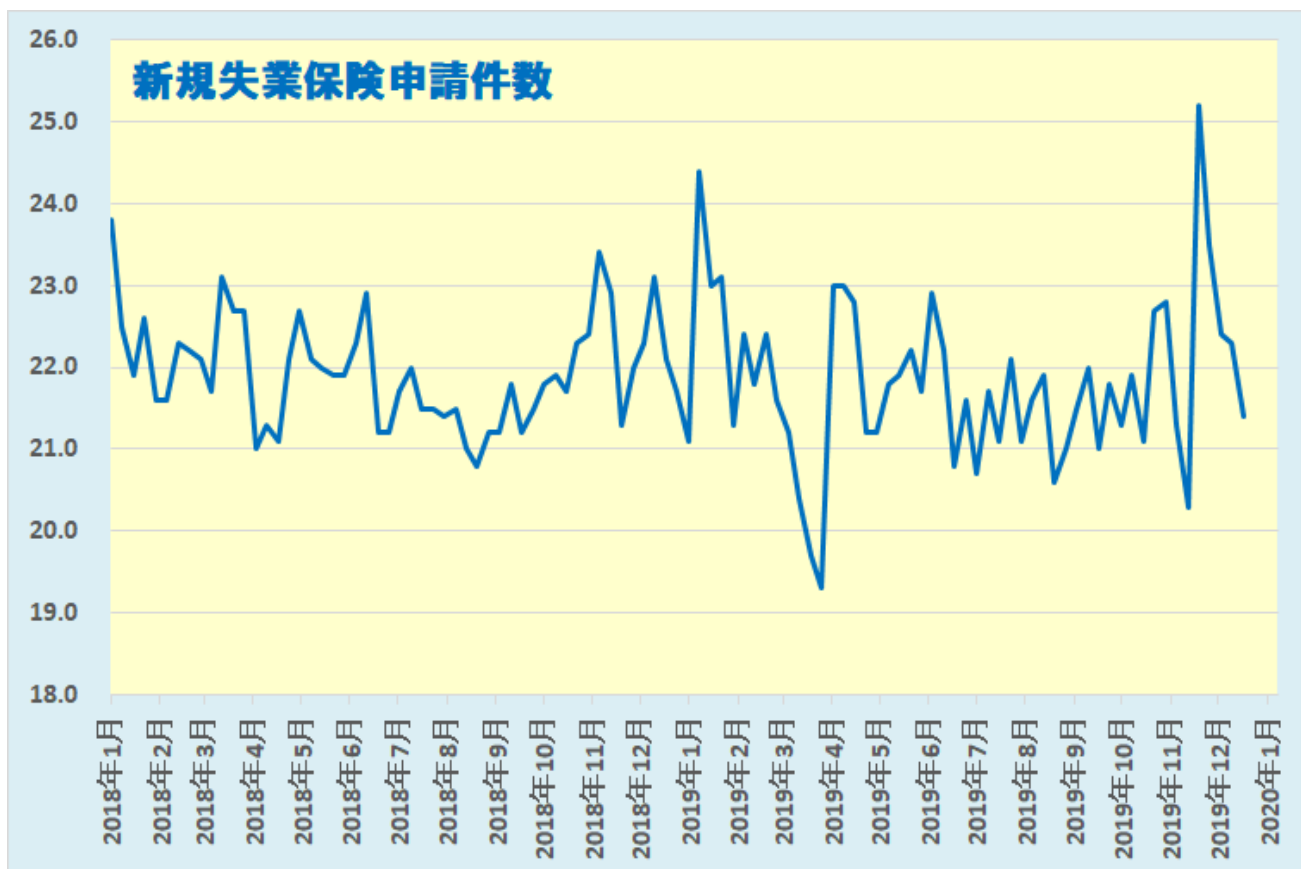
NY 市場レポート

主要な米経済指標の結果

新規失業保険申請件数 21.4 万件（予想 22.0 万件・前回 22.2 万件⇒22.3 万件）

失業保険継続受給者数 180.3 万人（予想 172.0 万人・前回 172.8 万人）

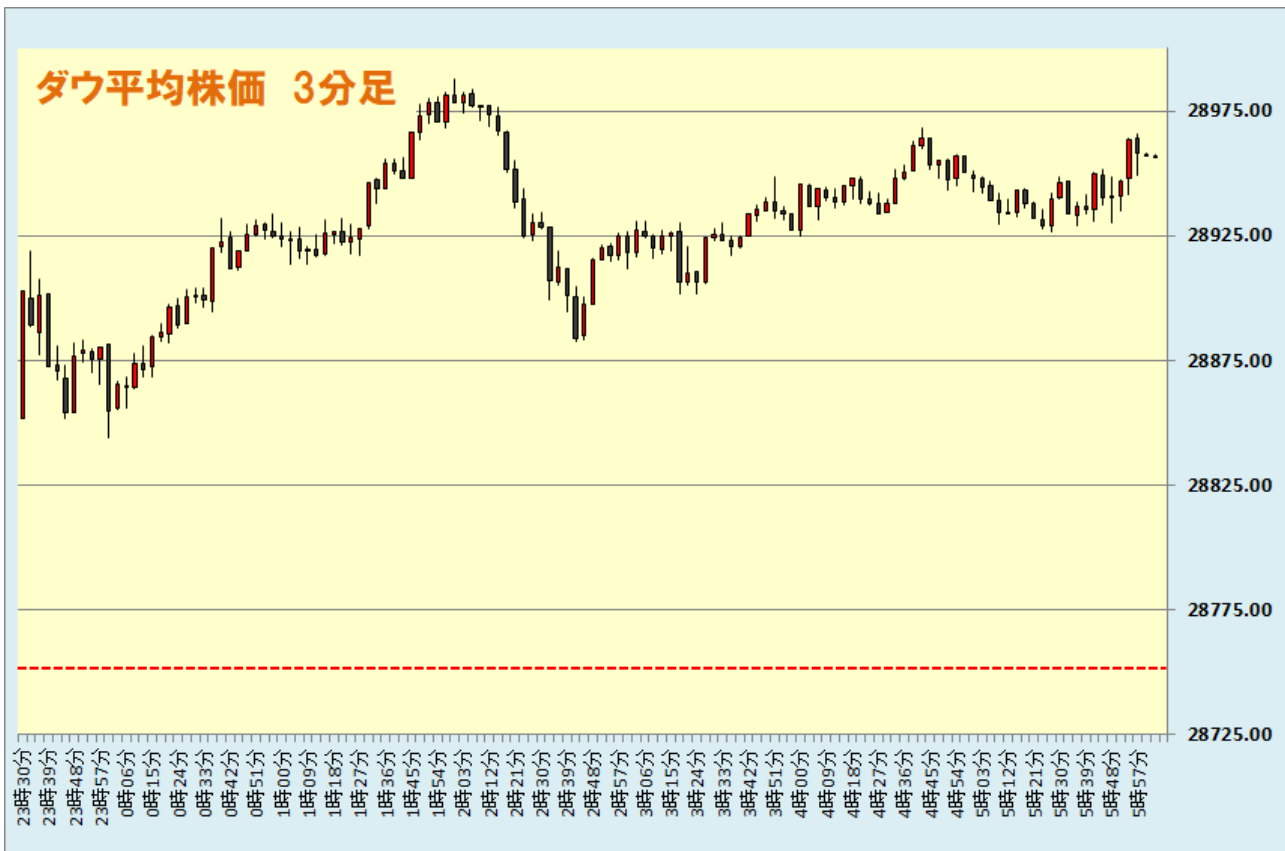
米新規失業保険申請件数は、市場予想を下回り前週比-0.9 万件となった。申請件数の 4 週移動平均は、前週比-9500 件の 22.4 万件。一方、失業保険継続受給者数は、前週比+7.5 万人の 180.3 万人、受給者数の 4 週移動平均は前週比+3.3 万人の 174.5 万人だった。



データを基に SBILM が作成

米主要 3 指数はいずれも最高値を更新した

米株式市場では、中東情勢の緊張緩和が引き続き材料視され、主要株価指数は序盤から堅調な動きとなった。また、米中通商協議の第 1 段階合意の署名のため、中国の副首相が訪米すると発表されたことも好感され、主要 3 指数はいずれも最高値を更新した。ダウ平均株価は、序盤から堅調な動きとなり、一時前日比 242 ドル高まで上昇し、取引時間中の最高値を更新した。その後、やや上げ幅を縮小したものの、211 ドル高で終了し、終値ベースの最高値も更新した。一方、ハイテク株中心のナスダックは 74 ポイント高で終了し、S&P500 とともに最高値を更新した。



データを基に SBILM が作成

セクター別変動率(ダウ平均)			個別の変動率(ダウ平均銘柄)		
	セクター	変動率		銘柄	変動率
1	テクノロジー	1.42%	1	アップル	2.12%
2	金融	1.20%	2	ゴールドマン・サックスG	2.04%
3	消費財	0.81%	3	コカ・コーラ	1.82%
4	消費者サービス	0.71%	4	アメリカンエキスプレス	1.81%
5	資本財	0.66%	5	ホーム・デポ	1.53%

データを基に SBILM が作成

ドル/円は年初来高値を更新

NY 市場では、中東情勢の緊張緩和を背景に、米主要株価指数が軒並み堅調な動きとなり、ダウ平均やナスダックが序盤から最高値を更新したこともあり、ドル円・クロス円は堅調な動きとなった。さらに、米 10 年債利回りが 1.856% から 1.896% まで上昇したことも加わり、ドル/円は一時 109.58 まで上昇し、昨年 12/27 以来の高値を付け、年初来高値も更新した。その後、1/8 にイランで墜落した旅客機に関して、米当局者がイランのミサイルで撃墜されたとの見方を示したとの報道を受けて、ドル円・クロス円は軟調な動きとなる場面もあった。加えて、米 30 年債入札が旺盛だったことで米国債利回りが低下に転じたこともあり、ドル/円は 109.40 まで下落した。しかし、米主要株価指数が終盤まで堅調な動きが続き、主要 3 指数がいずれも終値ベースで最高値を更新したこともあり、ドル円・クロス円は終盤まで底固い動きが続いた。



出所：総合分析チャート

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。